

議会運営委員会 会議録

=====
日 時 平成31年3月19日（火曜日）
午後4時4分開会，午後4時18分閉会
場 所 第3委員会室

- 日 程
- 1 開 会
 - 2 委員長挨拶
 - 3 議長挨拶
 - 4 協議事項
(1) 決算特別委員会の審査方法について
(2) その他
 - 5 閉 会
-

出席委員（7名）

委員長	内田	卓男
副委員長	小坂	博
委 員	寺内	充
委 員	吉田	博史
委 員	篠塚	昌毅
委 員	平石	勝司
委 員	島岡	宏明

欠席委員（0名）

その他出席した者（2名）

議 長	海老原	一郎
副議長	福田	一夫

説明のため出席した者（0名）

事務局職員出席者（5名）

局 長	塚本	哲生
次 長	川上	勇二
係 長	宮崎	清司
主 査	村瀬	潤一
主 査	寺嶋	克己

傍聴者（0名）

○内田委員長 議会運営委員会を開会いたします。議長から。

○海老原議長 皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。今日はですね、9月定例会に決算特別委員会が入ることになりましたので、会期中にですね。それについてご協議を願います。

○内田委員長 はい、ありがとうございました。早速、協議事項に入ります。協議事項（1）決算特別委員会の審査方法について、ご協議願います。この3月議会におきまして、本市で初めて予算特別委員会を設置し、当初予算の審議を分科会方式を用いて行いました。これまでの議論の中では、予算と決算を同じ方法により審議していこうという方向付けがされておりますので、今回、実際にやってみた、皆さんの感想をお聞きし、そして活かし、9月の決算特別委員会の審査方法、具体的には審査日程ですが、それらについてのご協議をお願いする訳でございます。9月の決算は、これまで定例会後の、いわゆる休会中に5～6日位を掛けて審議をしていただいたものを定例会中に行おうとするもので、予算の審査以上に変更点があると思われま。目の前に改選が迫っておりますので、今日、この議論に決着をつけるか。新たな議運のメンバーに、この続きの議論をお願いするかも含めて議論をいただきたいと思えます。皆さん、如何でしょうかということなんですが、まず、今回の、この議論、決算の前に、今回の予算特別委員会の、この方法について、できればお一人お一人、ちょっと、手短かに感想を述べていただければなと思えます。まず、平石君。

○平石委員 今回、初めての形で、まあ、いろいろ勉強をさせていただいたことも多かったです。分科会をやったからの、この間もお話しが出ましたけれど、やはり報告書作成とか、日程が、ちょっとタイトな部分があったのかなというふうに思いましたので、その辺は、本当に、自分自身は勉強になりました。そういうことです。以上です。

○内田委員長 はい、島岡君。

○島岡委員 セットで見まして予算と決算ということで、すごく理に適っていると思えます。ただ、執行部の皆さんの話を、全く聞いていないような気がいたしますので、執行部の皆さんのスケジュールとか、そういうのを、少しは聞きながらやるのも必要なのかなという気がしました。

○内田委員長 じゃあ、吉田（博）委員。

○吉田（博）委員 予算委員会は、全体会が、今回は、朝9時からだよ。お昼ちょっと過ぎただけけれども、まあ、選挙の年でもあるからというような気がしたんだけど、やっぱり全体会は、一日、取らなければならない。歳入全部というのをね、やはり朝9時というのを10時で良いと思う。午前と午後に分けて一日やると。それで次の日に、各分科会でもって、また一日の余裕を持って審査するというようなことで、日程的に、やっぱりちょっと足りない。だから会期延長とか、そういう事も考えなきゃと感じたね。

○内田委員長 ありがとう。はい、篠塚委員

○篠塚委員 歳入の説明の時に、ちょっと時間が足らなかったと思うので、質疑を、どうしても、短く、全員で質問をし始めると、もっともっと時間が掛かると思うんです

よ。本来は、もうちょっと質問があったと思う。日程の調整の必要性があると感じました。それを踏まえて決算委員会にしていければなど。予算と決算の委員会を一緒にするというのも、今後の検討材料かなと、同じメンバーがやっていくということもあるのかなと思いました。

○内田委員長 はい、じゃあ、寺内委員。

○寺内委員 そうですね、今回初めて予算委員会を立ててやったものですから、やはり、皆さん、委員は分かっていると思うんですよね、時間が短かったと。それで、余りにも、結局、その時間を延ばすと常任委員会の分科会が出来なくなるから、ある程度、言葉を呑んでる議員も、沢山いると思うんですよ。だから吉田委員が言うように、一日、予算委員会をやってみたらどうだろうと。今回初めてなものですからね。やったことで、そうすると、当然、予算が、それだけ掛かるってことは、決算も掛かるってことだから、だから、そういうことを考えてあげて、それで、次回の常任委員会ね、例えば、議会運営委員会に委ねるんじゃないかと、ここでやって、それで9月の決算のやつはやってやった方が良くないかと思えますよ。分かっている人らが議論をした方が。と思います、私。

○内田委員長 じゃあ、副委員長。

○小坂副委員長 3月なので、毎回、卒業式とぶつかると思うので、会期の延長が必要になるんじゃないかというように、個人的には思いましたので。以上でございます。

○内田委員長 じゃあ、皆さんのお話しを総合して、私個人の意見なんですが、まあ、基本的には、選挙を目前にしての議会ですので、やはり、今回、本来の予算審議としては、ちょっと首を傾げる部分がありました。やっぱり、それは時間ということだと思いますし、やっぱり予算ですから、しっかり論議し審議するという必要性から、私は、少なくとも2～3日の会期延期はすべきかなということを思っていました。それは、当然、我々の審議を十分にするという意味が、まず1つ。それと事務局の事務の流れと言いますか、正味1日必要なのか2日必要なのか、事務局がね。その辺、分かりませんが、その辺は、私は、もし、今日、結論が出なくてもですね、来年の3月ね、その時には、3日から2日という申し送りをすとか、まあ、出来たら、今日、決めちゃっても良いんですが。何か、そんな感じがいたしました。

○吉田(博)委員 委員長、逆に事務局の方の意見は・・・。

○内田委員長 聞きましょう。

○吉田(博)委員 それ、聞きたいな。

○川上事務局次長 是非、担当者から生の声を・・・。

○内田委員長 じゃあ、宮崎君、率直に言ってごらん。

○宮崎事務局係長 14日の午前中に全体会を開いていただきまして、午後から常任委員会、分科会を開催。そして次の日の午後から報告書の読みあわせ等をしていただいたんですけども、報告書を作るのにですね、委員会が終わった時間というのものもあるんですけど、報告書を作るのに徹夜・・・。

○内田委員長 だろうな。

- 宮崎事務局係長 それで、次の日もギリギリまで掛かって、やっと仕上げたような感じですので、できれば少し・・・。
- 内田委員長 2日か、1日か。
- 宮崎事務局係長 少し余裕を持って・・・。
- 吉田（博）委員 余裕を持ってな。
- 宮崎事務局係長 まあ、慣れていないというのもありましたが・・・。
- 内田委員長 そうだね。だから、今、火曜日開会、火曜日閉会というのをね、木曜日か金曜日にするというようなことの、まず余裕を持って、1回やってみると。余裕が有り過ぎれば木曜日に戻すみたいな感じが良いのかな。ねえ。
- 寺内委員 試行錯誤でやることだから。
- 内田委員長 どうですか、吉田さん。
- 吉田（博）委員 良いんじゃないですか。今日の話題の決算なんかもそうだけどさ、やっぱりある程度、余裕を持って、1週間なら1週間ね、延長してやってみて、それで1週間は要らないなど。じゃあ3日位で良いかというのも、それも1つのあれだから・・・。
- 寺内委員 やってみれば結論は出るから。
- 内田委員長 じゃあ、1週間、伸ばしちゃう。
- 吉田（博）委員 1週間位、伸ばして良いんじゃないの。決算の場合は現地視察とかが・・・。
- 寺内委員 あるからな。
- 内田委員長 決算はね、私は1週間、伸ばすべきだと、最初から思っているんだけど。ただ予算委員会を、そこまでやっちゃって良いかというね。ただ、休会にしておけばよかつという話もあるんだけど。1週間っていう手もあるね。
- 寺内委員 やってみれば良いんじゃない。
- 内田委員長 3月も9月も1週間か。
- 吉田（博）委員 そんなに要らなかつたらつめると。
- 寺内委員 そんでつめれば良いんだ、やってみてな。5日で出来るなら、また5日にするとか。議運で議論をしてもらえば良いんだから。
- 吉田（博）委員 我々もきちんと審議をしたい。その結果を、事務局もきちんと事務処理をして欲しいということで、ある程度、余裕を持たなければダメだな。徹夜することはないよ。
- 小坂副委員長 それはダメだよ。
- 内田委員長 議長もね、まだ議長だから、議長のご意見を、感想を、ちょっと聞いてみましょう。
- 海老原議長 大変だから1週間伸ばすのは分かるんですが、同じ3週間に伸ばすにしても、前倒しってことも考えられるのかなど。それはどうなんですか。それがちょっと・・・。
- 内田委員長 いずれにしても・・・。
- 海老原議長 伸ばすのは良いんですけど。
- 内田委員長 だから1週間は伸ばすと。前にするか後ろにするかは、次の期の人で議

論をしてもらえば良いんじゃないかと。基本的には、1週間は伸ばすということだよ。じゃあ、副議長、副議長が発言することも、そう無かったので、最後であれなんだけど、発言して。

○福田副議長 確かに、いろいろなご意見があつて、当然だと思うんですけど、先程、どなたかがおっしゃいましたように、まあ、ある意味、試行錯誤期間だと思いますので、回を重ねて、より良いものにしていただきたいと思います。

○内田委員長 それではですね、皆さん、時間もあれなんで、要するに1週間伸ばすと・・・。

○寺内委員 いいんじゃない。

○内田委員長 ということ、今日、お話ししておいて、それで、前とか、そういうのは、次回というようなことの案が、まず、あります。

○篠塚委員 決算の・・・。

○内田委員長 いや、決算は、今は言ってません。予算です、あくまでも。

○篠塚委員 決算の審査については・・・。

○内田委員長 だけど、とりあえず、その前に、とりあえず、皆さんの感想を聞いて、まず、予算の事を、どうしたら良いかと、問い掛けています。決算は後です、話し。

○篠塚委員 これからね。

○内田委員長 はい。

○篠塚委員 じゃあ、良いです。

○内田委員長 じゃあ、予算は、1週間伸ばすということ、皆さんの共通の意見としてまとめました。ありがとうございます。それでは、決算か、9月の決算委員会について、ご議論をいただきたいと思います。

○篠塚委員 決算の場合は、各部署で、中間決算、それから監査決算をやってから入ってくると思うので、これが9月に前倒しになってくれば、執行部の準備もあると思うので、今日、決めないと準備が大変だと思うので。あと、日程も、先程、予算で1週間伸ばすというのもありましたので、それを踏まえてご議論をいただければと思います。

○内田委員長 ということは、今日、決めると。

○篠塚委員 はい。

○内田委員長 どうですか、期間について。篠塚さん、ついでですから。

○篠塚委員 これ、2案あつて、変更案1と書いてあるんですけど、1週間延長、これが一番、余裕があつて良いのかなと思います。

○平石委員 そうですね。

○内田委員長 これは火曜日から水曜日ってことか。

○篠塚委員 はい。

○内田委員長 1週間以上ってことになるな。

○篠塚委員 9月25日が最終日って予定で。

○小坂副委員長 それに賛成です。

○吉田(博)委員 1ヶ月ぐらい議会を、しみじみと・・・。

○内田委員長 じゃあ、皆さん、お聞きします。変更案1、火曜日の水曜日という案が

ございますが、これで如何でしょうか。

○寺内委員 結構です。

○内田委員長 はい。じゃあ、全員、賛成と。

(「はい」の声あり)

○内田委員長 ということで、変更案1ということに決定いたしました。これで良いのかな、宮崎君。

○宮崎事務局係長 はい。

○内田委員長 以上で終わるんですが、私もさよならの挨拶を30秒。まあ、皆さん、本当に、ここ2年間・・・。

○吉田(博)委員 委員長、さよならの挨拶の前に、私、前座で良いですか。

○内田委員長 良いよ、どうぞどうぞ。

○吉田(博)委員 議会改革を、基本条例を作って、先程、議長が言ったように議会報告会をやっていると。それはそれで議会改革。今日、議運で議論をした委員会の方式、これも議会改革なんですよ。

○内田委員長 大きな事だ。

○吉田(博)委員 これは、今までの慣例に従ってた日程でやってきたけど、それは、時代に合わないということでやった。これこそが、私は、議会改革だと思います。という前座です。

○内田委員長 はい。全く、本当に、吉田委員のね、皆さん、これについてはね、同意見かと思えます。そういった事をやりまして、本当に、皆さんのご協力があったからこそだったなあと感じております。本日は、まあ、しめの、最後の委員会でございます。本当に、ご協力、ありがとうございました。

(「お疲れ様でした」の声あり)

○内田委員長 それでは、以上を持ちまして議会運営委員会を閉会します。